

改革・改善サイクルに係る対応方針

地域振興部

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
地域振興総務課	負担金交付	文化観光協会負担金交付事業	<p>・文化観光協会への各種事業を整理し負担金の目的を明らかにしたうえで、体制の自立化の方向を検討する必要がある。観光は期待される事業であり、協会事業の自由度をあげ、広範に活躍すべきでは。</p> <p>・NPO法人である枚方文化観光協会という組織に対する費用負担のあり方が検討されなければならない。本来、会員にとって会費は寄付ではなく、便益に対するものであるべきで、魅力を増して会員を増やす努力が必要である。</p> <p>・負担金を具体的に何に使っているか不明確。会費の収支報告も透明化されていない現状において、会員はほとんど会費を寄付のような気持ちで納めておられるのでは。会員のメリットをPRしてこそ、もっと会員数を増やす努力と、それによって得られる会費の収入増を狙いながら、当事業の自立化をめざしていただきたい。</p>	改善	<p>負担金を含めた団体の決算報告について、現在は性質別での報告となっているが、今後は、より透明性を確保するため、事業別での報告を検討するよう働きかける。</p> <p>また、団体の自立に向けて、会員の増加など収入増となる取り組みを進めるよう、団体に働きかける。</p>	<p>決算報告については、平成26年度決算から、自立に向けた取り組みについては、平成27年度中に策定する「経営プラン」で掲載することを目標とする。</p>	二次点検・評価対象事業

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
地域振興総務課	イベント関係	枚方市魅力発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいづくりの視点で、枚方の魅力事業はどんなものがあるか、いつ誰に効果的に発信すべきか、個別事業を合わせて事業効果を倍増できないか、市民・企業・他市などの連携など効果的効率的な魅力発信について検討すべき。(魅力発信のファシリテーター) ・魅力発信には全市的取り組みが必要であり、関連する他事業との連携が図られなければならない。 ・事業名に対し、実際の事業内容が限定されている。「魅力発信事業=(イコール)ひら婚」としか、受け止められないのでは。加えて、1組のカップルが対象であることから「公益性の観点で見れば、市民に当事業をどのように説明するのか。今回を機に、枚方市にとっての「魅力発信事業」を一斉にピックアップ(文化・芸術などのカテゴリーに限定)して再編成・集約することが必要では。 	改善	<p>本事業の実施にあたっては、学生が事業実施に必要なノウハウを蓄積してきたこともあり、今後の市の関わり方について検討を行う。</p> <p>また、新たな魅力発信事業も本事務事業単位に含めることで、効果的な情報の発信に努める。</p>	<p>新たな魅力発信事業を本事務事業単位に含めることで、効果的な情報の発信を行う。</p>	<p>二次点検・評価対象事業</p>
地域振興総務課	負担金交付	ひらかた観光ステーション施設運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・所管課の回答において、「文化観光協会負担金交付事業」との統合・整理は無理とのことだが、事業自体の費用対効果については検証の必要性あり。 ・目標は、事業目的に対して妥当か。 	現状のまま継続	<p>引き続き、市民が快適に利用できるよう環境改善を図るとともに、目標設定についての検討を行う。</p>		

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
地域振興総務課	イベント関係	「マルシェ・ひらかた」開催事業	<ul style="list-style-type: none"> 販売以外に市が期待する成果が上がっていないのでは。 本事業は監査からの指摘も受けており、費用対効果の再検証の必要性を感じる。 	拡充・重点化	監査からの指摘を踏まえ、農家と商業者及び商店街等がコラボレーションした枚方産ブランド商品の開発や商店街の活性化など、商業関連系に重点をおきながら、市内産業を市内外に広くPRする場として活用できるイベントとなるよう検討をすすめる。		
地域振興総務課	イベント関係	にぎわい空間創出事業	<ul style="list-style-type: none"> 能動的な活動が見えづらい。 	現状のまま継続	事業支援申請受付期間を「14週間～6週間前」から「6か月～2か月前」に支援基準の改正を行うなど、市民がより利用しやすいように取り組みを行っている。 また、岡東中央公園の利用促進のため、少雨でもステージイベントが実施できるよう、ステージに屋根を設置するなど環境整備に努める。 今後も引き続き、利用率向上に向けた取り組みを進める。		
地域振興総務課	イベント関係	海外友好都市交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 交流内容の重点化を検討しては。 今後の方向性として現状のまま継続とのことだが、早急な事業内容の見直し・検討が必要では。 	拡充・重点化	オーストラリア・ローガン市との交流内容を再検討し、新たな展開を模索する。		
地域振興総務課	イベント関係	国内友好都市交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 所管課の回答において幅広い市民参加のイベントもあるとのこと、むしろ多くの市民対象のイベントを中心とした事業経費として活用するよう再検討する必要があると思われる。 事務事業総点検により改善されたか。 	現状のまま継続	事務事業総点検での指摘を受け、平成26年度から、「少年少女ふれあいの翼」について、参加者から提出のあった感想文をホームページ等に掲載し、事業のフィードバック行うこととしている。 また、参加者自身の費用負担についても、3万円から3万5千円に増額を行った。 今後も、幅広く市民が参加できるイベントに取り組んでいく。		

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
地域振興総務課	イベント関係	友好・交流都市物産展開催事業	・マルシェ事業や国内友好都市交流推進事業との連携または統合を視野に効率性と重点化を図っては。	現状のまま継続	全ての友好・交流都市の参加をめざし、各都市に協力をお願いする。 また、マルシェ・ひらかたなど他のイベント事業との連携の可能性を検討する。		
地域振興総務課	イベント関係（所）	桜フェスティバル開催事業	・市の役割は一定果たしており、実施主体の検討を。	改善	「さくらまつり」の実施主体や場所などの開催手法を含め、本事業全体のコーディネートについて検討するとともに、市の花「桜」の効果的な総合的発信を検討する。	平成27年度の桜フェスティバルに、検討結果を反映する。	
生涯学習課	イベント関係	生涯学習市民センター活動委員会事業	・事業内容を見直し、目的に沿った地域の特色ある企画に特化すべきでは。 ・事務事業総点検により改善されたか。	現状のまま継続	事業の内容を検証しつつ、引き続き市民と連携して、センターの特色を生かしながら、身近な場所で市民ニーズに合った様々な分野の事業の企画・実施に取り組む。		

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
生涯学習課	イベント関係	生涯学習事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動やカルチャーセンターまたIT化など学びの場の多様化に応じ事業内容を見直しては。 ・事務事業総点検により改善されたか。 	拡充・重点化	<p>平成24年度より、御殿山生涯学習美術センターにおいて、地元の渚商店会など地域と年間を通じて連携し事業実施している。</p> <p>各生涯学習市民センターにおいても、センターの特色を活かした地域活性化について検討し、公益財団法人、地元商店街などの民間事業者、さらに、専門性の高い大学や事業者との連携を進め、具体的には平成26年度はマナビスト講座を9回に増やすなど、より一層、効果的かつ効率的、また様々な分野の事業実施に努める。</p>		
文化振興課	イベント関係	文化振興課主催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの方向性は評価。 ・市として事業の必要性を検討すべきでは。 ・事務事業総点検により改善されたか。 	改善	<p>将棋イベントについては、引き続きトーナメントと初心者講座を分け、子ども達が無理なく参加できる環境を作るとともに、効率的な運営に努める。</p> <p>ひらかた工芸展は、より市民公募展の参加者数を増やすことにより、来場者の増加を図る。</p> <p>事務事業総点検からの改善として、市が行う文化施策として認識出来るよう事務事業名を「文化振興事業」から「文化振興課主催事業」に名称変更を行った。</p>	<p>市民が文化芸術に触れる機会を設けることにより、文化芸術活動の活性化と裾野を広げるために必要な事業である。そして、市民の関心を引くためにも、本事業の魅力を広報紙以外にもプレスリリースを行うなど積極的にPRしていく。</p> <p>将棋イベントについては、より改善を図るため効率的な運営が出来るよう努める。</p>	

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
産業振興課	補助金事業	中小企業エコアクション21認証取得促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を活用しない理由について、対象者への聞き取りなど原因を明らかにしたうえで、今後の取り組み方策の検討が必要。今後、類似事業化で対象者とのミスマッチを無くすための一つの方法として示しては。 ・本事業に対する市としての方向性が重要である。また、何故、休止・終了に至ったのか検証すべきと考える。 ・「ISO14001認証取得促進事業」の方が当事業よりも中小企業にとって取得しているのは有利(アドバンテージ)があるのでは。なぜ、ここ数年、申請がゼロであるかの検証をしないまま、継続・廃止を所管課で決定するのは問題あり。至急、当事業について、中小企業との対話が必要では。 	休止・終了	<p>今後は、事業を単に継続的に実施するのではなく、経済団体等への聞き取り調査等を含め、市内事業者のニーズや社会情勢等を踏まえた上で、市として、事業者にとってより効果的な支援施策の検討に努めてまいります。</p>		二次点検・評価対象事業

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
産業振興課	補助金事業	伝統産業育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業終了にあたっては、①何故、事業効果が十分に出なかったか、②伝統を伝えていくために何をどういう形で残すかを早急に検討整理し、類似事象が生じたときの対応策とされたい。 ・伝統産業を市として守らなければならない理由を明らかにしたうえで、手立てを講じるべきである。市としての方向性が重要である。また、何故、休止・終了に至ったのか検証すべきと考える。 ・事業名に対し、実際の事業内容はかなり限定されている。すなわち「伝統産業＝(イコール)そうめん」と見受けられ、そうめん以外の伝統産業の掘り起こしも必要では。技術継承の必要性を感じるのであれば、集中投資が必要で、現在の1ヶ月3～5万円程度の奨励金では事業者側の取り組みとしても中途半端で終わってしまうのでは。当事業の継続あるいは廃止の判断が問われる。 	休止・終了	<p>「河内そうめん」は、複数年月をかけて技術を伝える必要があり、重労働でもあることから、技術伝承者高齢化とともに、技術継承者についても確保が難しく現内容による本事業の継続は、現実的に困難と考えております。また、河内そうめんは、農閑期の副業として発達してきた経過があり、生産に係る場所、期間(季節)が限定されることなどから、そうめんのみで生計を維持することは難しく、生産継続の基盤確保を市で行うことは困難であると考えます。</p> <p>今後については、技術継承を受けられた継承者への支援やこれまでのそうめん作りについて情報発信を行うなど伝統をつなぐような手法を検討するとともに、本事例を検証して、今後の様々な事業の参考としていきたいと考えます。</p>		二次点検・評価対象事業
産業振興課	その他サービス	産業振興コーディネート事業	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み方策は評価。 ・事業目的に対して、効果をあげているのか。 	改善	<p>支援による効果は、即効性のあるものばかりでなく、長期的に効果が見えてくるものもあると考えている。今後はこれまでの事業の集約を行い、事例等について活性化の取り組みとして、広く周知を行っていく。</p>	本事業の取組みを踏まえ、商店街支援の事業を再編し、市域全体への効果を図る。	

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
農政課	負担金交付	エコ農産物普及拡大事業負担金交付事業	・10年間の成果と課題をまとめ効果検証が必要では。	現状のまま継続	知事の認証面積については、取り組み当初の平成16年度は約9.5haであったが、直近3か年では、平成23年度が約46.2ha、24年度が約50.7ha、25年度が約53.9haと増加している。生産者及び農業者団体等の協力を得て、この取り組みを推進してきた成果として、平成25年度の水稲栽培面積は約39.4haに達し、府内でこの取り組みを行っている自治体で1位、水稲と野菜・果実を合わせた栽培面積では、3位の実績を上げている。今後も着実にこの取り組みを進め、環境にやさしい農業と地産地消に努めていく。		
農政課	負担金交付	津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金交付事業	・管理責任を明確にし、安全・効率的な維持管理を検討しては。	現状のまま継続	地蔵池オアシス共園については、枚方市と地蔵池オアシスコミュニティ協議会が平成9年に締結した協定書に基づき維持管理を行っている。協議会は当該が事務局を担っており、協議会合意のもと、施設のメンテナンスや撤去を行う等、適正な共園の維持管理に努めている。今後も都市と自然の共生する豊かな水辺空間を市民に提供できるよう地域住民とともに共園の維持管理を継続していく。		
農政課	補助金事業	農業ファンクラブ推進事業補助事業	・取り組み方策は評価。 ・自立化と活性化に向けた具体的検討を。 ・時限的な補助金対象を考慮する必要性がある事業のように思われる。	改善	・ファンクラブの会員数自体が高齢化及びファンクラブ農園の減少等により縮小傾向にある。今後は規模にみあった援農活動の促進、活動の企画・立案のさらなる自立化に向け、役員会等をつうじて促していく。	・ファンクラブ農園（地域密着型）での農作物体験や野菜作り栽培講習による技術向上等を通じた援農活動の維持及び自立化の促進。	

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
農政課	イベント関係	ふれあいツアー開催事業	・食育、販売イベントなどとの連携を図り、有効な事業継続方法を探るべきでは。	改善	受入れ規模の大きい穂谷でのふれあいツアーは、イベント「枚方の里山収穫の秋穂谷」と同時開催している。他の地域のツアーは受入れ規模が小さく、他のイベントとの連携は難しい状況です。	参加者・リピーターを増やすため、農業者の生産意欲の向上を図るため、これまでの問題点を踏まえて平成26年度から農業者への配分の見直し、販売価格の見直し等の改善策を検討、実施している。	
農政課	その他サービス	エコレンゲ米等産地消推進事業	・自然環境と食、食育の観点から枚方産のPR方法と今後の有効な事業展開方法を検討。	改善	学校給食へ引き続きエコレンゲ米を供給していく。エコレンゲ米を含め学校給食に供給している枚方産農産物については、献立表に明示し周知している(学校給食課)。枚方産の全体的なPRは引き続き他の事業と連携して実施していく。	平成26年度以降は、学校給食へ3ヶ月分供給することを目標としているが、エコレンゲ米の集荷が課題である。エコレンゲ米の生産拡大及び集荷増に向けての施策を検討する。	